



校長だより

日中丸



第13号
H29. 7. 12

日間賀中学校長
鈴木 康弘

ぎおん祭り 和太鼓演奏 7.8(土)

7月8日(土)の「ぎおん祭り 夜の部」において、和太鼓演奏を行いました。
 この日の演奏に向けて、「HINT A」(総合的な学習の時間)の時間には、吉村城太郎先生から大変熱心なご指導をいただきました。自分たちで「気づき、考え、行動する」姿をたくさん見ることができました。当日の演奏では、多くの方々に見えていただく中で、堂々と演奏することができました。島の子どもたちが、島の行事を盛り上げる姿に、大変感動しました。
 ご声援くださいました皆様、ありがとうございました。



遠泳大会 7.11(火)

7月11日(火)に、東浜海水浴場において、遠泳大会を実施しました。絶好の遠泳日和の中、完泳できた生徒も多く、一生懸命にがんばって泳いでいました。がんばる生徒の姿に感動しました。
 この遠泳大会を実施するにあたり、PTAの役員の方をはじめ、保護者の皆様には大変ご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



【男女各3人の入賞者】

朝会より 7.10(月)

生徒発表（7月のテーマ：部活動について）

宮地将也さん（1年）

僕は卓球部に入っています。朝の練習は毎日筋トレだけで疲れるけれど、午後の練習になると打ち合いなどができるので楽しいです。

中学校に入学して初めての部活動では、何をやればいいのかなど、全然わかっていませんでした。けれど、先輩たちが優しくいろいろなことを教えてくれたので、今では、基本的なものは身につけています。しかし、先輩たちのようにするには、たくさんの時間が必要だと思います。だから、一つ一つの練習を大切にしながら取り組んで行きたいと思います。もう少しすると、郡大会があります。3年生にとっては最後の大会になるので、先輩たちの結果が少しでもよくなるように、そして、自分たちも迷惑をかけないように、自分で気づいて行動できるようにしたいです。

鵜飼麻奈先生の話

こんな話をしてくれました。

中学生のころ、テニス部に所属していました。部長として自分の思うままにやっていたら、だれもついてきてくれませんでした。すごく辛かったです。でも、その時初めて、人の気持ちを変えるには、まず、自分の考え方や気持ちを変えなければいけないんだということを知ることができました。

大学生のころは、試合に出るどころかコートの中に入ることもできませんでした。それまで試合に出て活躍してきた自分にとっては、コートに入って試合ができないことはすごく辛かったです。しかし、今自分にやれることを精一杯やりました。そして、最後の試合で、ベンチ入りすることができたのです。

上から引っぱる立場、下から支える立場、いろいろな立場を経験してきました。どの立場も本当に辛くて、本当に楽しかったです。やりがいをもって向き合いました。

郡大会まで、あと2週間です。皆さんは、部活動内でどんな立場にいますか。ぜひ、今の自分の立場に胸を張って練習に取り組んでほしいと思います。郡大会、がんばりましょう。



校長の話

こんな話をしました。

土曜日にぎおん祭りで、和太鼓の披露をしましたね。大勢の人前で、演奏してみた感想はどうですか。はじめて人前で演奏して、緊張した人も多かったと思います。しかし、その緊張感に打ち勝って自分の力を出すということは太鼓に限らず、様々な場面で大切なことです。体育館の練習の後にも話しましたが、「やる気」の大きさは声の大きさで表すことができます。緊張感に打ち勝つためにも、声をしっかり出して、自分自身の「やる気」を高めましょう。次は、8月のたこ祭りです。期待しています。

さて、ぎおん祭りでは、和太鼓演奏だけでなく、「いさみ」に参加した人もいたようです。昼の部の「いさみ」は見ることはできませんでしたが、夜の部には提灯を持って練り歩く姿を見かけました。とてもうれしかったです。地域の方々も大変喜んでくれていました。地域の祭りに参加して、祭りを盛り上げることは大変いいことです。この日間賀島には、ぎおん祭りをはじめ、伝統ある行事がたくさんあります。様々な行事に積極的に参加していきたいですね。そして、島の人たちが君たちを大切にしてくれるように、君たちもこの島を大切にしていってほしいなあと思います。

